

# 2024年度 教区教化事業報告

## 1. 教区教化委員会

名称・内容	対象	会場	期日・回数
<b>教化委員会</b> 新教区発足年度の2024年度は、上半期に1室3部会で協議検討された現況の確認と共有を図るため、表記委員会を開催した。	教区教化委員会 委員	京都教務所	2025/1/23
<b>教化委員会「総会」</b> 年間の全教区教化事業の報告及び総括点検、並びに教化本部で策定された次年度の教区教化研修計画概要、教化方針、各部会の教化事業計画(案)の承認の場として開催。			2025/5/30
1-11-1【予：468,000円・出：299,900円】			

## 2. 教化本部

### (1) 教化本部会

名称・内容	対象	会場	期日・回数
<b>教化本部会議</b> 企画室での会議で協議確認された事項(素案・相談事項等)の確認確定を行った。また、各部会での課題・相談事項を検討し、教区の教化事業等の方向性の確認がなされた。なお、第2回目(3/6)は「教化調整協議会」と共催という形を取った。	企画室委員 部会幹事	京都教務所	①2024/10/1 ②2025/3/6 ③2025/5/21
1-11-2に予算化			
<b>教化調整協議会</b> 各部会・教区所属団体・部落差別問題に学ぶ同朋協議会で協議検討されている事項の報告・連絡及び確認と共有を図った。	企画室委員 部会幹事 部落差別問題に学ぶ同朋協議会会長 所属団体の長	京都教務所	①2024/12/12 ②2025/3/6
<b>男女共同参画に学ぶ学習会</b> 「あいあうカルタ」の実施(12/12) 『女と男のナムアミダブツ』の輪読による座談会(3/6)			
1-1-1【予：212,000円・出：167,000円】			
<b>地区教化事業</b> ①地区聖典学習会 ②地区同朋大会	各地区 僧侶・門徒・一般	各地区開催	各1回
①1-8-1【予：270,000円・出：240,000円】 ②1-9-3【予：1,290,000円・出：1,290,000円】			
<b>教化本部・部会委員 合同連絡会</b> 各部会で展開された教化事業の報告連絡の場として開催された。教区改編以来、教区の教化委員全体で初めて集まる場となり、ワークショップを行い意見交換と交流の場として各委員の教区の教化に対する見解を共有することができた。	企画室委員 部会幹事 部会委員	京都教務所	2025/4/28
1-11-2に予算化			

## (2)企画室

名称・内容	対象	会場	期日
<b>企画室会議</b> 所管業務に資する協議検討を行うとともに、教区教化全般における諸々の協議会等の企画立案作業を行なった。 <b>【協議検討・企画立案された内容】</b> ①特区・地区ネットワーク会議 ②男女共同参画推進プロジェクト ③特区・地区・組巡回懇談会 ④新たなカリキュラムの策定にかかる協議 ・得度事前学習会 ・同朋の会推進講座 ・組門徒会研修 ⑤「是旃陀羅」問題に関する事項について	企画室委員	京都教務所	①7/9 ②8/9 ③9/10 ④10/8 ⑤11/7 ⑥2/6 ⑦4/9 ⑧5/8 ⑨6/10
1-11-2に予算化			
<b>教区同朋会議</b> <b>テーマ</b> <b>「地区を中心とした教化事業の展開について」</b> 教区改編を経て、更に広域になった新体制の教区において、これからは特に地区教化が重要な立ち位置が要されることとなる。何の為に教化事業を取り組み、僧俗ともに親鸞聖人の教えを聞いていくのか。そういった根本問題もしっかりと省みると同時に、ワークショップ形式によるお話し合いを開催した。互いの地区の現況と課題を通して、今後更なる地区教化の充実に向けたお話をする機会となった。	正副議長・正副門徒会長 専任輪番 地区教化委員長 教化本部員 部会幹事 部落差別問題に学ぶ協議会会長 教区坊守会長 教区推進員連絡協議会会長 教区仏教青年会会長 教区児童教化連盟委員長 特区・地区坊守会長 特区・地区教化関係推薦者 長浜教化センター教化本部長・部門幹事	京都教務所	2025/1/23 ※教化委員会総会と同日開催
1-2-1【予：800,000円・出：126,140円】			
<b>特区・地区 教化委員長会</b> 特区・地区教化事業及び長浜教化センター並びに地区教化委員会の現況と課題等の共有を図るとともに、意見交換・交流の場として開催した。あわせて、次年度の地区・組で計画される教化事業等に連動していただきたく、2025年度の教区の教化方針等の事前告知を行った。	企画室委員 長浜教化センター教化本部長 地区教化委員長	京都教務所	2025/4/9
1-11-2に予算化			
<b>特区・地区・組 巡回懇談会</b> <b>①近江第26組</b> 「教化の現場でおもうこと」のテーマのもと、住職・坊守・門徒がそれぞれの思いを聞きあい語り合いする場として懇談会が開かれた。 出向者：沙加戸 崇・美濃部 俊裕・藤川 秀行・赤松 崇麿・永井 貴宗	住職・坊守・門徒・役職者ほか 9名	安曇川公民館	2024/9/7
<b>②丹波第2組(2025年度実施のための事前説明会)</b> 次年度に懇談会を開催するにあたり、事前の説明会とて実施された。 出向者：沙加戸 崇・藤川 秀行	組内住職・坊守ほか	南丹市 国際交流会館	2025/2/16
1-2-2【予：326,000円・出：47,400円】			
<b>教区 HP 運営</b> 教区の別院・寺院紹介、教化事業の予定や実施状況について発信していく。教化広報誌『教区だより』の掲載、並びに法話、講義、講演の映像の配信として、教区推連協主催 第29回 真宗同朋の会全国交流研修会法話（真城義麿師）、常磐会館報恩講法話（藤原千佳子師）、長浜特区同朋大会のライブ配信を行った。また SNS（LINE 公式アカウント、Facebook、Instagram）で情報発信を行った。			
1-1-2【予：1,430,000円・出：871,753円】			

## ◆長浜教化センター事業

事業名	点検・報告事項	対 象	会 場	期 日	講 師
特区同朋大会	長浜特区での最初の同朋大会となったこの度の大会では、ご本尊に集い聴聞することを大事に据え別院にて開催された。なお、ライブ映像配信を初めて導入し、他組・他地区の有縁の方々にも拝聴いただける形態をとることができた。	【参加者総数】 370名 寺 族・門 徒 一 般	長浜別院 大通寺	2025/5/18	寺本 温 (四日市別院輪番)
組教導 連絡協議会	長浜教区で打ち出された「組教導」にかけられた願いを省み、組の教化の中心的存在としてその任を荷っていただき、これまでどのような取り組みをされてきたか。自身の学びも含め、改めてこの2年間を振り返るとともに、この度の協議会にて、共に聞きあい、語り合いし、原点を見据え、残されたお役の時間をどのように充実したお役をなすことができるか。組教導同士で振り返り、共に願いを深めていく機縁となった。	組教導 教化本部員 (計21名)	大谷会館 講堂	2025/3/18	参加者 17名
施設法話	特区内9介護施設における月例法話会への講師派遣。「施設担当者との懇談会」を実施予定。講師3～4名で構成する3班が、各施設を担当。なお、2023年4月から各施設での法話会の開催回数を減らし、経費の一部（講師派遣1回につき2千円）を施設に負担をいただく。	【特区内施設】 9施設	各施設	2023年4月～ 施設の希望 月に開催	【施設法話講師】 有賀 尚子 七岡 朋子 河崎 頭祐 武田 晃威 達伊 優香 足利 弘樹 山田 孝夫 早寄 和典 森 清隆 古松 了祐 西野健太郎
施設法話 講師会	講師同士の連絡報告と課題共有を図るとともに、交流ならびに意見交換の場として開催する。また、部門委員と講師との協力体制のもと、本事業のより良き方向性を見出す場としていく。	施設法話 講 師	大谷会館 講堂	2025/6/27	

### 3. 部会

#### (1) 研修講座部会

趣旨・内容	対象・受講者	会場	期日	講師
<b>部会会議</b> 所管事業の計画に伴う企画立案を行った。	部会委員	京都教務所	7/23 9/24 12/24 1/16	—
<b>男女共同参画に学ぶ学習会</b> 『女性史に学ぶ学習資料集』の輪読			2/19 3/12 4/11	
1-11-2にて予算化				
<b>伝道研修会(2年1期:全6回)</b> <b>テーマ:現代に伝える伝道の在り方</b> 実行委員:藤浪 遊、治田保男 今回で18回目となる伝研では、旧長浜教区からの受講者も参加され、出会いと交流につながる場となった。1泊2日の日程の中、テーマを基にした講義を受け、攻究では回数を経ていく中で、受講者同士、互いの意見を聞きあい、学び深めることができた。また、受講生による法話実習を行い、合評を通して自身の学びの研鑽の場となった。 会費:受講生2,000円 聴講生1,000円	<b>【受講生】</b> 16名 <b>【聴講生】</b> 8名	京都教務所	<b>【第1回】</b> 2025/1/15・16	黒萩 昌 (北海道教区 法誓寺)
	<b>【受講生】</b> 18名 <b>【聴講生】</b> 8名		<b>【第2回】</b> 2025/2/18・19	
	<b>【受講生】</b> 17名 <b>【聴講生】</b> 6名		<b>【第3回】</b> 2025/3/11・12	
5-1-1【参加費:124,000円(受講2,000円・聴講1,000円)】1-3-1【予:1,700,000円・出:1,591,382円】				
<b>教師試験検定準備学習会</b> 今年度は、夏期・春期2回開催され、教師試験検定に向けて、真宗学・仏教学・教化学・声明作法・宗教法規についての準備学習を行った。 なお、夏期の検定は、台風のため延期となった。	<b>【受講者】</b> 12名	京都教務所	<b>【第1回】</b> 2024/8/27・28	<b>【真宗学】</b> 伊東 恵深 (三重教区 西弘寺) <b>【仏教学】</b> 松下 俊英 (教学研究所 所員) <b>【法規】</b> 五辻 広大 (総務部 主事) <b>【声明作法】</b> 仁科 高遠 (山城第1組 長安寺)
	<b>【受講者】</b> 11名		<b>【第2回】</b> 2025/2/27・28	
5-1-1【参加費:659,000円(教区内1科目6,000円・教区外1科目12,000円)】1-3-2・1-3-3【予:404,000円・出:435,776円】				
<b>得度事前学習会</b> 得度の意義と大谷派の僧侶としての基本的な声明儀式作法の学習の場を開いた。今年度は、2会場(長浜・京都)で開催された。  <b>【長浜会場】</b> 3日間開催のカリキュラムのなか、長浜別院の諸殿拝観、別院清掃奉仕を加え、別院声明会の会員による儀式声明指導ならびに、得度の意義の講義座談を講座研修部門の委員が担当され、受講者の学びを深める学習会となった。 会費:5,000円、聴講:3,000円	<b>【受講者】</b> 12名  子ども:7名 大人:5名	長浜教務支所	<b>【事前説明会】</b> 2025/2/11	川口 徹 (長浜第12組 永福寺)
			<b>【事前学習会】</b> 2025 3/24・25・26	高岡 淳 (教賀組 唯願寺) 佐藤 義成 (長浜第18組 満徳寺) 澤面宣了 (長浜第16組 淨願寺) 明石 祐憲 (長浜第17組 観念寺) 寛 承 (長浜第18組 蓮光寺) 笹原 弘正 (長浜第19組 正福寺) 橘 香洋 (長浜第12組 正義寺)

趣旨・内容	対象・受講者	会場	期日	講師
<b>【京都会場】</b> 「講義（得度の意義について）」 「声明練習・講習（装束作法）」 「おはなし（得度の意義について）」 「おつとめの練習・ころものつけ方について」	<b>【受講者】</b> 20名	京都教務所	2025 3/24・25	《14歳以上》 谷 祐真氏 <small>（近江第4組真光寺）</small> 多田 隼氏 <small>（本願部堂衆）</small>  《14歳未満》 早寄和典氏 <small>（同第2組要誓寺）</small> 本多雅廣氏 <small>（本願部堂衆）</small>
5-1-1 【参加費：169,000円（受講5,000円・聴講3,000）】 1-3-4 【予：366,000円・出：392,327円】				
<b>組門徒会研修会</b> 組門徒会員対象の研修として各組で開催。宗派の組織機構や宗門の歴史を通して、組門徒会員の使命と任務を確認する。新教区を機としたカリキュラムの調整及びスタッフ手引書の作成。	組門徒会員	寺院 教会等	各組年2回	
1-3-6 【予：2,150,000円・出：2,100,000円】				
<b>同朋の会推進講座</b> 住職と協力して同朋の会の結成・充実を推進する担い手（推進員）の誕生を願いとし、推進員と住職や若手寺族の方々が、共に聞法を重ね、生涯の友（朋）と出会える一カ寺一同朋の会の結成と充実を目的として、右記組にて実施された。また、新たなるカリキュラムを策定するにあたり、スタッフ手引書作成、ならびに、教区指定組の再設定にかかる検討協議を企画室にてとり行われた。	<b>組</b>	<b>講師</b>	<b>受講者数</b>	
	長浜第15組	澤面 宣了	11名	
	長浜第16組	平原 晃宗	19名	
	近江第1組	平原 晃宗	35名	
	近江第2組	藤川 秀行	26名	
	近江第6組	狐野 やよい	17名	
	若狭第1組	藤浪 遊	11名	
	若狭第2組	平原 晃宗、高岡 淳	22名	
	丹波第1組	藤川 秀行	17名	
	丹波第3組	山口 知丈	6名	
出雲組	(前期) 河野 真道、和多田 禎哉 (後期) 武藤 淳一	17名		
石東組	長 紀子、和多田禎哉、安本浩樹	27名		
1-3-7 【予：2,400,000円・出：2,400,000円】				

## (2)青少幼年部会

趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
<b>部会会議</b> 所管事業にかかる協議検討を行った。	部会委員	京都教務所 リモート会議	7/5・7/30・9/6・ 10/25・11/12 12/20・1/17 1/31・2/28・4/18 4/28・5/13・6/13	—
<b>男女共同参画に学ぶ学習会</b> 「教区だより」のコラムにて学習会を行った。				
1-11-2 に予算化				
<b>児童大会(休止)</b> 今年度は、長浜教化センターの事業「花まつり子ども大会」に参画するため、「バス団参」を企画するとともに、青少幼年部会としてレクリエーションのブースを出し、出会いと交流の具現化に向けて取り組んだ。	バス団参 26名	長浜別院	5/3	—
1-4-1【予：1,000,000円・出：256,643円】				
<b>青少幼年教化研修会</b> <b>テーマ「私にとって青少幼年教化とは」</b> 事例紹介をはじめとし、テーマに応じた講義を受け、座談を通して、青少幼年教化の大切さを確認共有することができた。懇親会も日程に加え、出会いと交流を大切に互いの意見を聞きあう場が開かれた。	参加者 30名	京都教務所	12/7・8	三品 正親 (近江第4組 蓮生寺)
1-4-4【予：1,001,000円・出：382,049円】				

## ◆長浜教化センター事業

趣旨・内容	対象	会場	期日
<b>花まつり子ども大会</b> <b>テーマ「みんなつながってるわ」-おしゃかさまからわたしたちへ-</b> 釈尊の御誕生をご縁とし、地域児童並びに教区内寺院日曜学校に参加されている子どもを対象として開催。花まつりを通して青少幼年教化の重要性を確認し、スタッフが学ぶ場として取り組んだ。なお、改編初年度の本年は、京都から「団参バス」を準備し、京都・滋賀(湖南・湖東)方面からの参加を視野に入れた新たな取り組みも行った。	参加者 367名  子ども：201名 大人：101名 スタッフ：65名	長浜別院	2025/5/3
1-4-2【予：420,000円・出：369,196円】			
<b>子ども報恩講</b> <b>テーマ「みんなつながってるわ」</b> 親鸞聖人の恩徳を確かめ、地域児童ならびに、教区内寺院日曜学校に参加されている子どもを対象として開催された。改編初年度にあたり、例年通り計画がすすまず、期日も1月に開催することとなり、寒さ対策や日程の工夫を加味しつつ開催できた。	参加者 102名  子ども：48名 大人：34名 スタッフ：20名	五村別院	2025/1/12
1-4-3【予：70,000円・出：50,973円】			
<b>特区青少幼年教化代表者連絡協議会</b> <b>テーマ「これからの青少幼年教化の方向性について」</b> 組・寺院で青少幼年教化事業のスタッフとして関わる方を対象に、各組の取り組み・現況・課題の確認・共有の場として開催。組間の交流と意見交換の場としてスタッフ間のつながりと広がり醸成することを目的として開催した。なお、ワークショップ(ワールドカフェ)を行い、交流も含めた意見交換会を行い、親睦も深めることができた。	参加者 20名	長浜別院	2024/11/15
1-4-4【予：20,000円・出：0円】			
<b>日曜学校教化教材作成</b> 日曜学校等で使用できる教化教材を調製した。(出席カード・出席シール・缶バッジ等)			
1-4-5【予：30,000円・出：0円】			

### (3)出版部会

趣旨・内容	対象・参加者	会場	期日	講師
<b>部会会議</b> 「教区だより公開講演会」開催日に、初めての対面会議を行うことができ、リモートでの会議にかかる諸課題も確認され、次年度は会議の持ち方についても適宜検討して考えていく方向性が確認された。	部会委員	京都教務所	【対面会議】 2025/4/21	—
1-11-2に予算化				
<b>教区だより編集会議</b> 教区教化広報誌『教区だより』の編集・発行にかかる業務をリモートによる3班体制にて会議を行った。	部会委員	リモート会議	7/10. 8/6	—
<b>男女共同参画に学ぶ学習会</b> 「教区だより」のコラムを基にして学習会を行った。			9/12. 10/23 11/22. 12/23 1/24. 2/22 3/24. 4/24 5/27. 6/26	
1-5-1【予：2,400,000円・出：2,263,572円】				
<b>教区だより公開講演会</b> 文書伝道の在り方を考え、編集出版・寺報作成に役立つ「文章での伝え方」を共に学ぶ研修会として、難波別院で発刊されている『南御堂』の編集に携わられた墨林氏を講師に迎え、文書伝道の心得、SNSを活用した紙面づくりなど、講演会を開催した。	【参加者】 28名	京都教務所	2025/4/21	墨林 浩 (大藏区 光熙寺)
1-5-2【予：150,000円・出：135,952円】				
<b>教化伝道冊子発刊</b> 教区内研修会の講義録や『教区だより』連載を教化伝道冊子として、2020年4月号から連載された四衢亮氏執筆の「悲しみが通じあう時—愚禿悲歎述懐を通して—」の発刊に向けた取り組みを行った。				
1-5-2【予：200,000円・出：198,223円】				

### 教師陞補対象研修会一覧

事業名	種別	備考
地区聖典学習会	第1種	
伝道研修会(研修講座部会)	第2種	
共学研修院 公開講座	第1種	
部落差別問題に学ぶ同朋協議会 教区研修会	第1種	
特区・地区部落差別問題研修会	第1種	

## ◆寺院活性化支援室

趣 旨・内 容
<p><b>特区・地区ネットワーク会議</b></p> <p>教区と特区・地区との連携強化を図ることを目的とし、「地区教化委員長会」とは別プロジェクトチームを編成し、教区と特区・地区との教化連携とネットワーク構築の具現化に向けた協議を企画室にて執り行った。当会議のグランドデザインを構築するにあたり「ネットワークの循環システム」の策定、並びに目的達成に向け、ネットワークプランナーによる「プロジェクトチーム」を編成し、地区・組・寺院が求める教化のあり方に対して応えていく取り組みを考えると同時に、教区と地区を繋ぐべく、中長期的に協議を重ねていく方向性が確認された。具体的には、次年度から始動していくこととなる。</p>
1-12-1 【予：1,400,000円・出：0円】

## ◆教学研鑽機関

### 「共学研修院」

趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
<p><b>公開講座 テーマ:信心</b></p> <p>仏法聴聞の場として開催。研修院生の学びにとどまらず、どなたでも聞法いただける場として開かれた。</p>	研修院生 一般	長浜教務支所	2024 12/20	黒田 進 (長浜第14組 満立寺)
<p><b>ゼミ演習:テキスト『歎異抄』</b></p> <p>院長・指導より『歎異抄』の講義を受け、ゼミ演習(座談会)の場で学習していく。担当制で演習にかかる事前学習(レジュメ作成)を行い、レジュメを基にした発表・攻究の学びを行った。</p>	研修院生	長浜教務支所	月2回	【院長】 黒田 進 (長浜第14組 満立寺)  【指導】 一色 孝 (長浜第13組 光西寺)
<p><b>宿泊研修会</b></p> <p>寝食を共にした研修を開催。昨年度同様、長浜での1泊研修を行い、研修院生同士、学びを深め親睦を深める研修となった。</p>	研修院生	三谷旅館 (長浜市)	2025 2/22・23	澤面 宣了 (長浜第16組 淨願寺)
<p><b>法話演習・法話実習</b></p> <p>1年のゼミ演習での学びの発表の場として、両別院夏中「暁天講座」で研修院生による法話実習を行った。また、実習の前に「法話演習」をおこない、法話で語るお話しをテーマを事前に設定し、どのようなお話しをするか、各自より発表し、講師ならびに研修院生全員にて合評をおこなったうえ、法話に臨む形式にて研鑽された。なお、法話実習終了後、さらに全員で反省会をもち、自身の法話の振り返りの場も開かれた。</p>	研修院生	長浜別院	2024 ①7/2 ②7/3 ③7/4 ④7/5	①藤森 了英 ②達伊 優香 ③古松 了真 ④三山 岳
		五村別院	2024 ⑤8/5 ⑥8/6 ⑦8/7 ⑧8/8	⑤藤本 智 ⑥増田和佳子 ⑦曾我 朋子 ⑧伊吹 勇真
特会 【予：2,010,000円・出：1,017,950円】				

## ◆部落差別問題に学ぶ同朋協議会 事業報告

趣旨・内容	対象・参加者	会場	期日	講師	
<b>総会・全体協議会</b> 当該年度事業の総括点検並びに予算審議をおこなった。併せて、次年度の事業計画（案）に係る協議検討を行うとともに適切な事業展開がなされているか確認される場となった。 また、総会後に旧長浜教区部落差別問題協議会が作成したテキスト「是旃陀羅問題とは？」を使用し、協議会委員の学習を深める場を持った。	協議会委員	京都教務所	2025 5/23	寫津 俊治 (長浜第23組本光寺)	
1-6-1【予：150,000円・出：22,500円】1-6-2に予算化					
<b>常任委員会(拡大会)</b> 協議会体制全般にかかる確認と共有を行うとともに、本山解推主催『「是旃陀羅」問題テキスト』学習会等の連絡調整を行うなど、協議会全体にかかる確認並びに各班で取り組まれている内容の確認と共有を行った。	谷 大輔 澤面 宣了 伊藤 慈成 浅見 朱美 寫津 俊治 長島 明子 蒲池 義圭 高岡 聖道 前田 賢龍	京都教務所 (リモート会議)	7/18 9/20 11/22 2/10 4/3	—	
1-6-2に予算化					
<b>教区研修会(学習会)</b> 委員が主体的に取り組むことを目的として、協議会委員を3班に分け、様々な差別問題に学ぶ研修会を企画立案し、実施した。テーマ、開催形式は以下の通り。併せて、『仏の名のもとに』の輪読学習も行われた。					
【1班】テーマ「部落差別問題の大切さを共に聞きたずねる」(意見交換会)	協議会委員 23名	京都教務所	2025 1/28	—	
【2班】 テーマ「京あまべの歴史に学ぶ」(フィールドワーク・現地学習会)	協議会委員 20名 一般：5名	東山いきいき 市民活動センター	2025 3/4	木下 松二 部落解放同盟京都府連合会 東三条支部支部長	
【3班】 テーマ「『是旃陀羅』問題に学ぶ」(公開研修会)	協議会委員 17名 一般：15名	京都教務所	2025 5/16	訓覇 浩 (三重教区三重組金蔵寺住職)	
1-6-1【予：1,020,000円・出：774,664円】					
<b>特区・地区 部落差別問題研修会</b> <b>【地区事業への助成】</b> 各地区に自主的な学習の場が誕生することを願いとする。					
地区	講師	内容	対象・参加者	会場	期日
山城	阪本 仁	真宗大谷派「是旃陀羅」問題について -広島県連との対話を終えて-	山城地区内寺族・門徒	京都教務所	6/19
湖南	比叡谷 紗誓	性の多様性を考える	寺族・門徒	赤野井別院	6/25
湖東	中山 量純	「御同朋からの問いかけ」	寺族・門徒	パーティセンター 薺	4/19
湖西	阪本 仁	真宗大谷派と『是旃陀羅』問題	湖西地区教化委員会管轄	今津コミュニティセンター	6/28
若狭	今年度は中止				
丹垣	藤尾 まさよ	このまちが好きだから ~差別の歴史をもつ地域に生かされて~	寺族・門徒	丹波第2組極楽寺	4/6
雲因	長田 浩昭	「是旃陀羅」問題に学ぶ	寺族・門徒	米子市文化ホール	6/30
石見	前田 賢龍	「是旃陀羅」問題について	寺族・門徒	専龍寺	6/28
1-8-1【予：450,000円・出：400,000円】					

## ◆長浜特区内事業

事業名	点検・報告事項	対象	会場	人数	期日	講師
月例部落差別問題学習会	(全12回原則第4金曜日) テキスト『御同朋を生きる』(解放運動推進本部編集)の輪読と協議(座談)を中心に学習を行った。	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	①12名②10名 ③15名④14名 ⑤14名⑥15名 ⑦16名⑧13名 ⑨13名⑩13名 ⑪12名⑫13名	①7/25②8/22 ③9/26④10/27 ⑤11/29⑥12/26 ⑦1/23⑧2/21 ⑨3/21⑩4/24 ⑪5/22⑫6/26	—
組部落差別問題研修会	新規に作成した「開催趣旨文」をもととした研修を各組にて実施するよう依頼し研修会の場を持った。	僧侶 門徒 一般	各組	現在報告書 集計中	【事前】 年1回 【研修会】 年1回	京極 眞了 (長浜第12組 即性寺) 曾我 謙成 (長浜第12組 等輪寺) 春近 寛 (長浜第14組 皆念寺) 澤面 宣了 (長浜第16組 淨願寺) 藤邊 匡文 (長浜第18組 南流寺) 雨森 慶為 (長浜第19組 轉正寺)
組部落差別問題講師会	特区選定講師を対象に「講師会」を開催。各講師より、各組の研修会報告や課題の発表を行い、協議した。	組部落 差別 講師	大谷会館 講堂	—	2025/7	

◆所属団体 事業報告

(1)教区坊守会<教区助成:400,000円>

趣旨・内容	参加者	会場	期日	講師
<b>役員会</b> 左記期日にて会議を重ね、所管事業にかかる協議・企画・立案を行った。	教区坊守会 役員	京都教務所 リモート会議	8/27, 10/30 1/9. 4/10. 5/22	—
<b>常任委員会</b> 役員会で協議検討した所管事業について確認・決定を行った。	教区坊守会 常任委員	京都教務所 リモート会議	7/3. 9/19(Zoom) 2/12(Zoom*対面) 6/9	—
<b>近畿連区坊守会</b> 近畿連区坊守会一泊研修会の計画等を行った。	各教区正副 坊守会長	四国教務所	10/17. 6/12	—
<b>真宗大谷派坊守会連盟委員会</b> 真宗大谷派坊守会連盟の前年度決算・事業報告並びに今年度事業・予算案審議等を行った。	達伊 優香	宗務所	7/18~19	—
<b>教区坊守会総会</b> 教区坊守会の2024年度事業・予算案審議等を行った。	各組坊守会長 39名	京都教務所	7/29	—
<b>各組坊守会長一日研修会</b> 総会終了後に開催した。講題「長浜で大事にされてきたお念仏について」講義をいただいた。	各組坊守会長 35名	京都教務所	7/29	澤面 宣了 (長浜第16組 淨願寺)
<b>真宗基礎講座(第10期II)</b> 真宗学・仏教学・声明作法・教化学・仏花の講習会を年10回に分けて開催した。 なお、仏花講習会は別途参加者を募集した。 講師：【真宗学】難波教行(教学研究所所員) 【仏教学】織田顕祐(教学研究所所長) 【声明作法】松村大栄(本廟部堂衆) 【教化学】織田顕祐(教学研究所所長) 難波教行(教学研究所所員) 【仏花】田中幸夫(花小商店)	受講者：39名 仏花講習：29名	京都教務所	9/11、10/9 11/13、12/11 1/8、2/12 3/5、4/9 5/14、6/18	
<b>教区坊守会一日研修会</b> 講題：慶縁に生きる	96名	岡崎別院	10/1	福田 大 (岡崎別院輪番)
<b>真宗坊守会連盟 坊守研修会</b> 講題：「今、ともに歩むとは」	4名	真宗本廟	12/4-6	飯山 等
<b>真宗坊守会連盟 若坊守研修会</b> 講題：語りましょう！見つけましょう！ -お寺のあり方、私の生き方-	3名	真宗本廟	12/9-10	羽部 玲子
<b>近畿連区坊守会 一日研修会(四国教区当番)</b> 講題：ふかきみ法にあいまつる	37名	琴平温泉 琴参閣	2/17	真城 義磨 (四国教区 東子組 善照寺)
<b>教区坊守会一泊研修会</b> 講題：人と会うということ - 親鸞聖人と恵信尼さま -	68名	都ホテル京都八条 しんらん交流館	2/26-27	東館 紹見 (大谷大学 教授)
<b>「坊守会だより」第47号発行</b>	—	担当：山城地区	6/1	—

(2)教区推進員連絡協議会<教区助成:850,000円>

趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
<b>総会</b> 教区改編の経過報告と、新しくなった教区推進連絡協議会（以下、推進協）についての説明を行った。役員選出、活動方針、2024年度事業計画、歳入歳出予算案について議決。	教区推進協 役員 代議員	京都教務所	2024/08/06	—
<b>総会研修会</b> 総会に合わせて研修会を開催する。改編初年度につき未実施。	教区内 推進員	—	—	—
<b>役員会</b> 研修会の計画、機関紙「光雲」についての打ち合わせ、新しくなった教区推進協についての説明会について企画、準備などを行った。2025年4月15日に京都教務所にて組長説明会を実施。今後、各地区・組を巡回して実施予定。	役員	京都教務所	2025/01/30 2025/03/13 2025/04/15 2025/05/16 2025/05/22	—
<b>常任委員会</b> 研修会の計画準備、機関紙「光雲」の編集、新しくなった教区推進協についての説明会についての協議などを行った。	役員 常任委員	京都教務所	2024/10/11 2024/11/08 2024/12/05 2025/02/21 2025/04/03 2025/06/18	—
<b>特区・地区研修会</b> テーマ「仏法に学ぶ出会いと交流」を共通テーマに据え、教区改編後、新規事業として地区で開法の場を開き、を教区主催の研修会として実施した。 次年度からは、毎年、特区+3地区で開催していく予定となっている。	63名	<b>湖東地区</b> 日野町わたむき ホール虹	2025/04/14	竹中 慈祥 (長浜第12組 真廣寺)
	87名	<b>若狭地区</b> サン・サンホーム 小浜	2025/05/25	樫山 正樹 (名古屋教区 教西寺)
	109名	<b>長浜特区</b> 長浜別院	2025/06/14	保木 悦雄 (近江第26組 浄立寺)
<b>真宗同朋の会 全国交流研修会</b> 第29回 真宗同朋の会 全国交流研修会を、当番教区として主催。第51回近畿連区同朋の会推進研修会として併催。講師は真城義磨師。推進員の原点に立ち返り、同朋会館で開催。また、江州音頭保存会の方により「東本願寺同朋の会音頭」を作詞。主催教区として郷土の文化を紹介する。	全国推進員 教区駐在教導  計116名	真宗本廟 同朋会館	2024年 10/9～11	真城 義磨 (四国教区 東予組 善照寺)
<b>推進員再上山奉仕団</b> 推進員の原点の一つである奉仕団を企画し上山する。出会いと交流の機会をつくり、つながりを深める。改編初年度につき未実施。	教区内 推進員	真宗本廟 同朋会館	—	—
<b>会報発行</b> 機関紙『光雲』を発行。広域教区において、誌面による報告・連絡を行う。毎号3,500部発行。	教区内 推進員 全寺院	—	【発行日】 2024/10/01 2025/01/01 2025/05/01	—
<b>全国推進協会報誌『羅網』</b> 全推協より会報誌『羅網』を購入（毎号3,500部）、発送。	教区内 推進員 全寺院	—	【発行日】 2024/09/01 2025/01/01 2025/05/01	—

(3)教区児童教化連盟<教区助成:80,000円>

趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
<b>役員会</b> 事業計画や運営に関する打ち合わせ等を行った。	役員	京都教務所	8/30.9/3 10/1	—
<b>事業レポート</b> 子ども会にて人形劇を実施。 2025/01/31 京都教務所にて人形劇練習	浄安寺 子ども会	浄安寺	2025/2/11	—
<b>第23回 春の子ども本山参り(教区助成事業:100,000円)</b> 『みんなで西本願寺を探検しよう!』 子どもたちと「遊び」を通しつつ、真宗本廟に参拝する。本年度は西本願寺を探検し、東西本願寺の歴史を学び親鸞聖人の教えに触れた。	スタッフ 14名 引率11名 子ども27名	真宗本廟 (東本願寺) 龍谷山本願寺 (西本願寺)	2025/3/28	2024/12/11 京都教務所
				2025/03/25 オンライン
				2025/03/27 京都教務所
<b>研修会</b> (準備等時間確保ができず未実施)	—	—	—	—

(4)教区仏教青年会<教区助成160,000円>

趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
<b>公開講座</b> テーマ「グリーンケアを学ぶ」※本年度は見送り。	—	京都教務所	—	—
<b>0からはじめる声明教室</b> 鬼頭 師「正信偈真四句目下」「念仏讃洵五」 多田 師『葬儀中陰勤行集』を中心に「葬儀和讃」まで。 上記の内容で研鑽研修を行った。		京都教務所	10/16	鬼頭 武志 (本山堂衆)
			12/03	
			2/4	多田 隼 (本山堂衆)
4/17				
<b>2024年度総会</b> 2024年度事業の事業報告ならびに次年度の事業計画(案)、予決算の審議を書面会議にて行った。	仏青会員	京都教務所	7/25	—
<b>清掃奉仕</b> 各別院にて清掃奉仕を行った。山科別院では、報恩講前と蓮如上人の御正当法要前に御廟所を清掃、大津別院では報恩講前に仏具のおみがきを行った。	仏青会員	山科別院	9/12 3/13	—
		大津別院	10/10	
<b>法要出仕</b> 常磐会館報恩講に出仕した。	仏青会員	京都教務所	11/21	—
<b>常任委員会議</b> 必要に応じて月1回執行部の会議を行った。	仏青執行部	京都教務所 山科別院 大津別院 Zoom	8/1.9/12 10/10.12/20 2/4.3/13.5/14	
<b>親鸞ウォーク(教区助成事業:150,000円)</b> 毎年企画が変わるウォーキングイベント。 今回は、教区改編を記念して五村別院と長浜別院を中心に教如上人の足跡を訪ねた。	参加者 52名	長浜現地	4/11	